

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

都市計画課長

西村 成人

電話番号

0852-22-5209

事務事業の名称	都市公園整備事業	
目的	(1) 対象	都市公園利用者
	(2) 意図	県民のスポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等となるよう公園整備を進め、県民の健康増進や憩いの場、交流の場を提供する。
事業概要	安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな県民生活の実現を図るため、都市公園法（昭和31年法律第79号）第2条第1項第1号に規定する都市公園の整備等を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	公園利用者数	目標値	139.0	139.0	139.0	139.0	万人
			取組目標値					
	式・定義	公園利用者数	実績値	145.4				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	197,569	328,048
うち一般財源 (千円)	13,134	13,199

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○石見海浜公園においてはイベントの開催や夏季の天候に恵まれ利用者が増（+4.7万人）となった。
○全体で平成26年度に比べ7万人の利用者増（達成率104.7%）が図られた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

○浜山公園においては、陸上競技場改修、照明施設改修、便所改修等を実施した。
○石見海浜公園においては、予約センター改修、便所改修等を実施した。
○万葉公園においては、遊具更新、給水施設更新、便所改修等を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

○老朽化が進行している公園施設（便所等）に関する苦情・要望に対して十分に対応できていない。
○浜山公園の運動施設については、規則改正に適合していない箇所への強い改善要望がある。

②困っている状況が発生している「原因」

○他管理者施設との比較により、利用者のニーズが高まってきている。

③原因を解消するための「課題」

○施設改修に要する予算が十分ではない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○公園施設長寿命化計画に基づきメリハリのある維持管理を行う。
○バリアフリー化されていない公園施設のバリアフリー化対策も計画的に実施し、快適な施設の提供に努める。
○運動施設については体育協会など関係団体や利用者の意見を聞いて、改善策を検討する。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）